

庭木を、美しい状態に保つには、季節ごとにしっかりした管理が必要です。また、土壌や地形などにもより、月ごとに微妙な調整が必要になってきます。
以下では、庭木を一年中美しい状態に保つための管理作業を月ごとにご紹介しています。

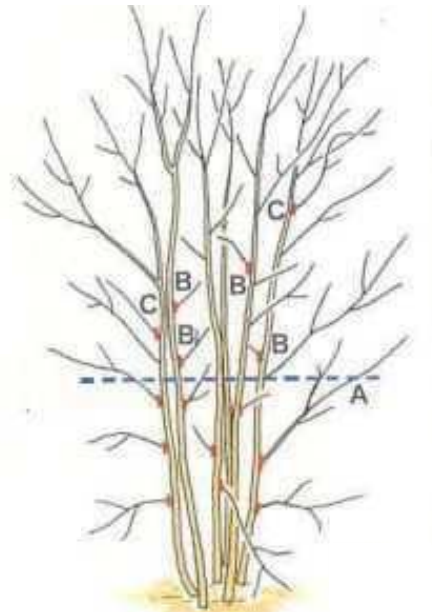
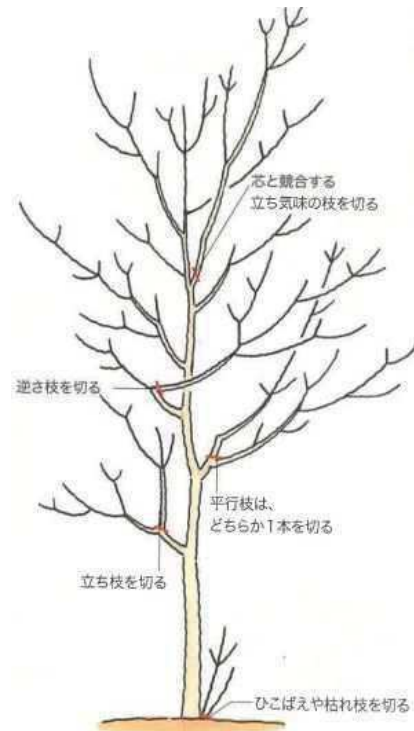
樹木の1年間の管理作業について

		冬			春			夏			秋		
		1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月
生け垣	落葉樹	刈り込み											刈り込み
	常緑樹							刈り込み				刈り込み	
花木							花後剪定						
庭木	落葉樹	剪定（すかし・切戻し）					剪定						剪定
	常緑樹				剪定			剪定			剪定		
共通		寒肥 ★重要					病害虫防除						施肥

- ※寒肥とは、冬の寒い時期の休眠期にある庭木などに施す肥料のこと。
- ・すかしとは、枝を間引くこと。
 - ・切戻しとは、2～3節残して切り、勢いのよい枝を出させること。

落葉樹：すかし（１２～２月）

株立ち：すかし（１２～２月）



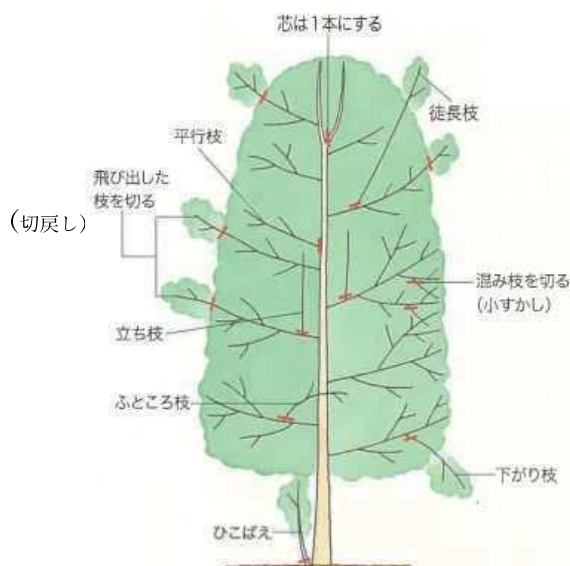
A 幹の半分ぐらいの高さまでの下枝はすべて切る。

B 株の内側に向かって伸びる枝は切る。

C 平行枝や絡み枝などを切る。

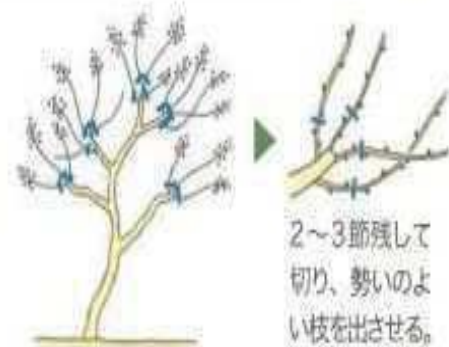
常緑樹：すかし&切り戻し

（３～４月上旬、６～７月上旬、９月）



冬の剪定(切り戻し)

本来の適期である冬に花芽がないので、剪定しても花芽を落とすことはありません。勢いのある新梢ほど花つきがよい性質があるので、枝を強く切り戻します。耐寒性がやや弱い樹種は、３月から４月の芽吹き前に剪定します。

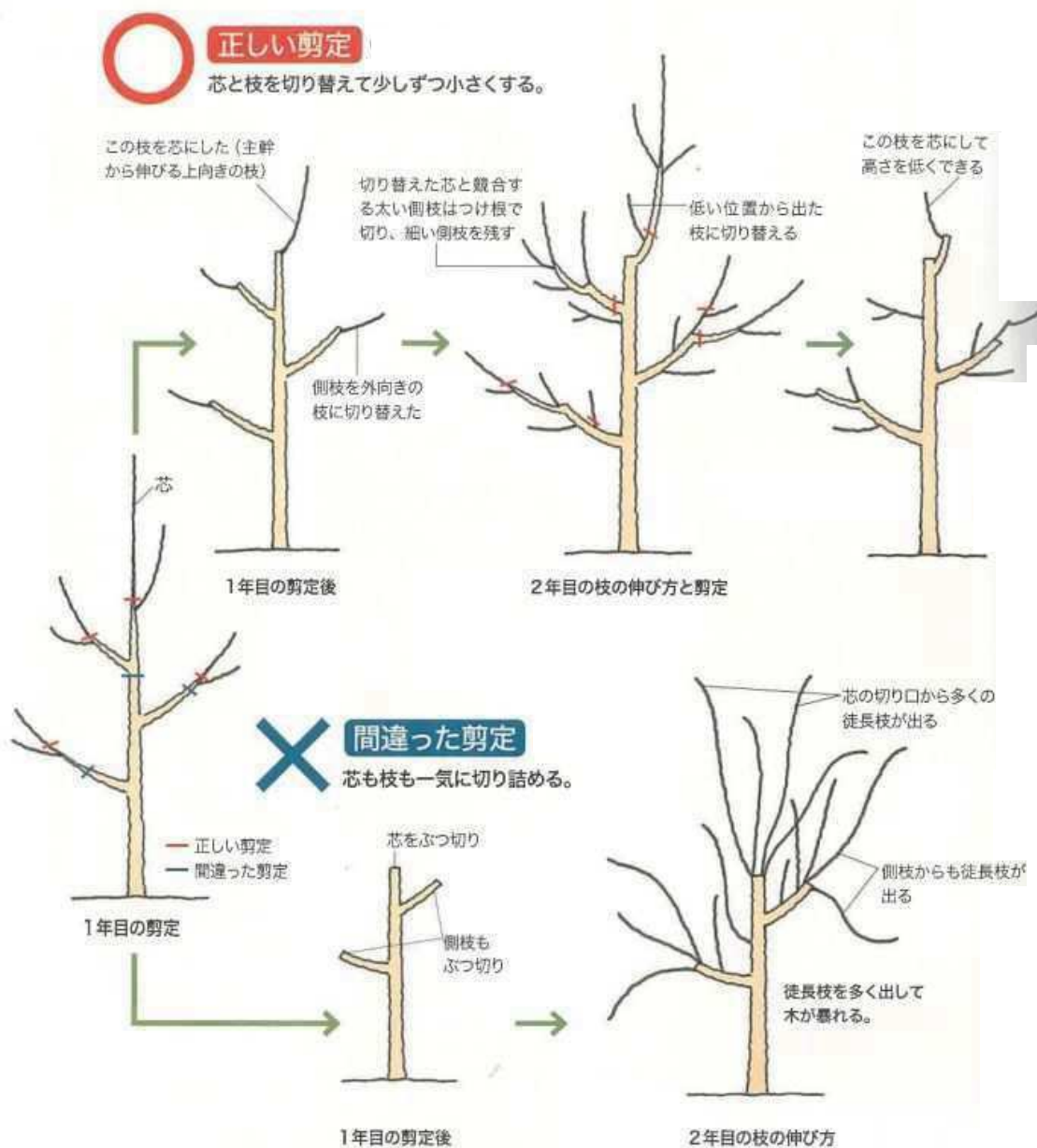


木を小さくする剪定について

- ・幹や太い枝を切る強剪定になります。少しずつ確実に小さくしよう！
- ・切ったあとの大きな切り口には、腐朽菌が浸入するリスクが高く、その後の処置が悪いと幹や枝が枯れる原因となります。樹種ごとの剪定適期に行い、切り口にはトップジンなどの癒合剤（保護剤）を塗りましょう。

●小さくする剪定とその後の枝の伸び方

※主な枝のみを示しています。



出典：「NHK趣味の園芸 切るナビ！ 庭木の剪定がわかる本 NHK 出版」より